

第3次中央市 子ども読書活動推進計画

「子どもと本が出会えるまち・ちゅうおう」



令和5年3月
中央市教育委員会

はじめに

人間は言葉によってものごとを考え、身近な人々と心をかよわせてきました。人間ほど自由に言葉を操り、豊かな言葉の世界をもつ生き物は他にはありません。

子どもは、自分を取りまく人々との関わりを通して言葉を学びます。そして、読書を通じて言葉を広げ、深めていきます。さらに、様々な物語との出会いによって豊かな情操と想像力を育てていきます。また、新たな事実や不思議との出会いによって知識を得たり知的好奇心を育んだりしていきます。

「本」には、「書物・文書」という意味のほかに、「物事のはじまり」や「真実の」という意味もあります。本を読むことは、新たな自分への第一歩となり、本当の自分へと導いてくれるものであるといえるのではないのでしょうか。

このように、読書は子どもの成長に重要な役割を果たしています。子どもが本を読んでもらったり、様々な本を手にとって読んだりできる環境を整えることは、私たち大人の責任であると考えます。

中央市は、教育の基本に「まごころ」を掲げ、教育の指針としています。「まごころ教育」には、「生きる力をはぐくむ教育」（生）・「命を大切にする教育」（命）・「信頼しあう教育」（信）の3つの柱を設けています。

「まごころ」は、誠実でいつわりのない“こころ”であると同時に、他者をつつむやさしい思いやりの“こころ”でもあります。この「まごころ」を子どもの心に根付かせるのは、日々の学習や直接体験とともに、読書の力に負うところが大きいと考えます。

中央市では読書活動の推進にあたり、「まごころ」が子どもの心に根をおろすことを願いつつ、中央市のすべての子どもたちが本とのよい出会いをし、さらに主体的・意欲的に読書に親しみ、生涯にわたる読書習慣を身につけて豊かな生き方ができるよう、「第3次中央市子ども読書活動推進計画」を策定しました。

目次

はじめに

第1章 子ども読書活動推進計画策定にあたって

1	子どもの読書活動推進の意義	1
2	子どもの読書活動の現状	1
3	計画の位置付け	3
4	計画の目的	3
5	計画の目標	3
6	計画の期間	4

第2章 第2次計画における成果と課題

1	第2次計画に示された取組内容	4
2	成果と課題	5

第3章 子どもの読書活動推進のための施策

1	家庭における子どもの読書活動の推進	6
2	幼稚園・保育所・認定こども園における子どもの読書活動の推進	7
3	児童館・放課後児童クラブにおける子どもの読書活動の推進	8
4	学校における子どもの読書活動の推進	8
5	市立図書館における子どもの読書活動の推進	10

第4章 関係機関との連携・協力

1	行政機関との連携	11
2	市立図書館と教育機関及び各種団体との連携・協力	11
3	ボランティア、民間団体との連携・協力	11

第5章 普及・啓発活動

1	「子ども読書の日」等における広報・啓発の推進	11
2	子どもの読書活動に関する情報の収集と提供	12

第6章 計画の推進に向けて

1	評価指標	12
2	評価資料	12

参考資料

- 資料1 子ども読書活動の推進に関する法律
- 資料2 第3次中央市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱
- 資料3 第3次中央市子ども読書活動推進計画策定委員名簿
- 資料4 活動支援施設一覧